

## 会議の開催結果について

- 1 会議名 令和4年度第2回上尾市障害福祉施策推進委員会
- 2 会議日時 令和4年10月6日(火)  
午前・午後 1時00分から
- 3 開催場所 上尾公民館 講座室503
- 4 会議の議題
  - (1) 障害者手帳所持者数等の推移について
  - (2) 上尾市障害者支援計画の進捗状況について
  - (3) 次期上尾市障害者計画、上尾市障害福祉計画及び上尾市障害児福祉計画に係るアンケート調査の実施について
  - (4) その他
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴者数 1人
- 8 問い合わせ先 健康福祉部 障害福祉課  
(担当課) 048-775-5315 (直通)



# 会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度第2回上尾市障害福祉施策推進委員会																												
開 催 日 時	令和4年10月6日(火) 午後1時から午後3時																												
開 催 場 所	上尾公民館 講座室503																												
議長(委員長・会長)氏名	相川章子(聖学院大学 人間福祉学部)																												
出席者(委員)氏名	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">高橋 好治</td> <td>社会福祉法人 あらぐさ福祉会</td> </tr> <tr> <td>強矢 清美</td> <td>社会福祉法人 上尾あゆみ会</td> </tr> <tr> <td>木全 美幸</td> <td>社会福祉法人 あげお福祉会</td> </tr> <tr> <td>山口 達子</td> <td>特定非営利活動法人ピュア・スマイル</td> </tr> <tr> <td>土井 孝次</td> <td>特定非営利活動法人上尾市身体障害者福祉会</td> </tr> <tr> <td>井上 禮子</td> <td>上尾市手をつなぐ親の会</td> </tr> <tr> <td>新久 光三</td> <td>上尾市聴覚障害者協会</td> </tr> <tr> <td>佐藤 順恒</td> <td>上尾市医師会</td> </tr> <tr> <td>佐藤 公保</td> <td>上尾商工会議所</td> </tr> <tr> <td>本城 文夫</td> <td>上尾市ボランティア連絡会</td> </tr> <tr> <td>児玉 洋子</td> <td>上尾・桶川・伊奈基幹相談支援センター</td> </tr> <tr> <td>山辺 素史</td> <td>上尾市社会福祉協議会</td> </tr> <tr> <td>高松 亨光</td> <td>上尾特別支援学校</td> </tr> <tr> <td>小川 秀行</td> <td>大宮公共職業安定所</td> </tr> </table>	高橋 好治	社会福祉法人 あらぐさ福祉会	強矢 清美	社会福祉法人 上尾あゆみ会	木全 美幸	社会福祉法人 あげお福祉会	山口 達子	特定非営利活動法人ピュア・スマイル	土井 孝次	特定非営利活動法人上尾市身体障害者福祉会	井上 禮子	上尾市手をつなぐ親の会	新久 光三	上尾市聴覚障害者協会	佐藤 順恒	上尾市医師会	佐藤 公保	上尾商工会議所	本城 文夫	上尾市ボランティア連絡会	児玉 洋子	上尾・桶川・伊奈基幹相談支援センター	山辺 素史	上尾市社会福祉協議会	高松 亨光	上尾特別支援学校	小川 秀行	大宮公共職業安定所
高橋 好治	社会福祉法人 あらぐさ福祉会																												
強矢 清美	社会福祉法人 上尾あゆみ会																												
木全 美幸	社会福祉法人 あげお福祉会																												
山口 達子	特定非営利活動法人ピュア・スマイル																												
土井 孝次	特定非営利活動法人上尾市身体障害者福祉会																												
井上 禮子	上尾市手をつなぐ親の会																												
新久 光三	上尾市聴覚障害者協会																												
佐藤 順恒	上尾市医師会																												
佐藤 公保	上尾商工会議所																												
本城 文夫	上尾市ボランティア連絡会																												
児玉 洋子	上尾・桶川・伊奈基幹相談支援センター																												
山辺 素史	上尾市社会福祉協議会																												
高松 亨光	上尾特別支援学校																												
小川 秀行	大宮公共職業安定所																												
欠席者(委員)氏名	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">大野 奈美</td> <td>特定非営利活動法人 ポコ・ア・ポコ</td> </tr> <tr> <td>久保田孝子</td> <td>障害者(児)の生活と権利を守る上尾市民の会</td> </tr> <tr> <td>湯本 幸江</td> <td>上尾市民生委員・児童委員協議会連合会</td> </tr> <tr> <td>遠藤 浩正</td> <td>埼玉県鴻巣保健所</td> </tr> </table>	大野 奈美	特定非営利活動法人 ポコ・ア・ポコ	久保田孝子	障害者(児)の生活と権利を守る上尾市民の会	湯本 幸江	上尾市民生委員・児童委員協議会連合会	遠藤 浩正	埼玉県鴻巣保健所																				
大野 奈美	特定非営利活動法人 ポコ・ア・ポコ																												
久保田孝子	障害者(児)の生活と権利を守る上尾市民の会																												
湯本 幸江	上尾市民生委員・児童委員協議会連合会																												
遠藤 浩正	埼玉県鴻巣保健所																												
事務局(庶務担当)	平賀課長 市村副主幹 栗原副主幹 岸主査 金子主査 井原主任																												

会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	(1) 次期上尾市障害者計画、上尾市障害福祉計画及び上尾市障害児福祉計画に係るアンケート調査の実施について (2) その他	
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 1名
会 議 資 料	・会議次第 ・令和4年第1回上尾市障害福祉施策推進委員会 書面会議結果 ・次期上尾市障害者計画、上尾市障害福祉計画及び上尾市障害児福祉計画に係るアンケート調査の実施について（アンケート案）（資料①） ・次期上尾市障害者計画、上尾市障害福祉計画及び上尾市障害児福祉計画に係るアンケート調査の実施について（第1回会議の結果と対応） ・資料③「次期障害福祉計画及び障害児福祉計画に係るアンケート調査について」	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和4年 / 2 月 20 日  議長(委員長・会長)の署名 <u>相川 章子</u>  議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)		

## 議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局市村	<p>ただいまから、令和4年度第2回上尾市障害施策推進委員会を開催いたします。本日司会と務めさせていただきます、障害福祉課 副主幹の市村と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、資料の確認をさせていただきます。本日の委員会で使用します資料につきましては、事前送付いたしております。それでは1点ずつ確認させていただきます。</p> <p>1点目、会議次第。</p> <p>2点目、令和4年第1回上尾市障害福祉施策推進委員会 書面会議結果。</p> <p>3点目、資料① 次期上尾市障害者計画上尾市障害福祉計画および上尾市障害児福祉計画に係るアンケート調査について。</p> <p>4点目、次期上尾市障害者計画上尾市障害福祉計画および上尾市障害児福祉計画に係るアンケート調査の実施について。</p> <p>以上4点については、事前送付いたしております。</p> <p>また、本日机上面にて配布させていただいております資料③「次期障害福祉計画及び障害児福祉計画に係るアンケート調査について」という1枚の資料を配布しております。資料が不足している方は、挙手にてお知らせください。</p> <p>(資料確認)</p> <p>それでは、資料の確認について終わりいたします。</p> <p>つづきまして、今年度は初めての対面開催となりますので、委員の皆様から自己紹介を兼ねて一言ずついただきたいと存じます。</p> <p>では、相川委員長様から反時計回りをお願いします。</p> <p>(委員 事務局 あいさつ)</p>
事務局市村	<p>続きまして、本日、ご欠席の連絡をいただいておりますので、ご報告申し上げます。大野委員、久保田委員、湯本委員、遠藤委員、以上4名におかれましては、都合のため欠席となっております。また佐藤順恒委員が、遅れるとの連絡をいただいております。</p> <p>この結果、本日の出席者は14名になり、委員会につきましては、条例第7条第2項の規定に基づき、過半数の委員のご出席がありますので、会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>それでは、これより、令和4年度第2回上尾市障害福祉施策推進委員会を開会いたします。この後の議事の進行につきましては、条例第7条(会議)の規定により、委員長にお願いいたします。なお、本日の議事については、議事録作成のため録音させていただきますことをご了承ください。それでは、相川委員長、議事の進行をよろしくお願いいたします。</p>
相川委員長	<p>それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。ご協力よろしくお願いいたします。</p> <p>事務局に確認します。傍聴者はおりますか？</p>
事務局市村 相川委員長	<p>はい。1名ございます。</p> <p>審議に入る前に委員のみなさんにお伺いします。</p>

	<p>本日の会議につきましては公開としておりますが、ただいま傍聴希望者が1名来ております。公開となっている審議事項については傍聴を許可するというのでよろしいでしょうか？</p>
委員	(異議なし)
相川委員長	事務局の方、ご案内いただければと思います。
	(傍聴人入場)
相川委員長	<p>それでは、この後の審議は公開の会議とさせていただきます。それでは、議事の1番目、「次期上尾市障害者計画、上尾市障害福祉計画及び上尾市障害児福祉計画に係るアンケート調査の実施について」事務局から説明願います。</p>
事務局岸	<p>&lt;議事1 次期上尾市障害者計画、上尾市障害福祉計画及び</p>
	<p>上尾市障害児福祉計画に係るアンケート調査の実施について&gt; (資料「令和4年第1回上尾市障害福祉施策推進委員会 書面会議結果」、 「次期上尾市障害者計画上尾市障害福祉計画および上尾市障害児福祉計画に係るアンケート調査について(資料①)」、「次期上尾市障害者計画上尾市障害福祉計画および上尾市障害児福祉計画に係るアンケート調査の実施について」「資料③ 次期障害福祉計画及び障害児福祉計画に係るアンケート調査」について説明)</p>
相川委員長	<p>ありがとうございました。本当にまずは皆様詳細に見ていただいて、よりよい良い調査用紙になっていると思いますが、まず説明に対してご不明な点やご意見等、もしありましたらお願いします。</p>
木全委員	<p>書面会議結果の(3)のところですか。1つ目の、前回の調査(令和元年度実績)では「居住地区、住まいの場」などの項目がありましたが、今回はどうしてなくしたのですかという問に関して、回答として、住まいの場(戸建・その他等)、世帯の収入源などは計画策定項目に無いため、省略しましたという事務局の返答ですけれども、前回のアンケートの結果を見ると、例えば、住まいの場。戸建なのか、賃貸なのかという結果があって、それを見るとすごく特色があると思っていて、例えば精神障害の方は賃貸の集合住宅と答えた割合が他の障害に比べてすごく多くて、3割ぐらいの方が賃貸集合住宅でした。そういうのを見ると、他の区分の回答は持ち家が一番多いですが、精神障害の方は、アパートなどで暮らしている人が、他の障害に比べると多いなっているのが判ります。事務局は計画策定項目にないと言いますが、実際、計画の中の、地域生活支援事業において、住宅入居等支援事業というものが項目としてあり、令和4年度までずっと未実施で、令和5年度から実施って書いてある。この事業は、精神や知的障害の方が賃貸住宅を借りるときに、保証人がいないとか、いろんな理由で入居が困難な人に支援を行うという事業なので、今はやっていないが、令和5年度から実施予定となっているので、アパートで暮らしている人がどれだけいるかとか、そういうのは関係すると思っていて、計画策定項目にないと言い切るのはどうかと思いました。</p> <p>また、世帯の収入源も、精神障害の方でいうと年金のみという割合が他に比べると多い傾向があるなど、その辺りも生活保護など市の福祉全体を考えた時には、関係あるのではないかと思うので、参考になるのではないかと思います。</p>

相川委員長	ありがとうございました。詳細に調査されていてされていて、住宅入居等支援事業に関しては、アパートに住んでいる方が移行するというものではなく、地域移行の一環として、一つの選択肢になるのではないかと思います。今月末にもうアンケートを送付するという状況ですが、項目入れるか入れないかという話になってくるかと思いますが、今からその調整が可能なのか。事務局から回答いただきます。
事務局岸	アンケートへの追加は可能なので、対応させていただきたいと思います。
相川委員長	入れていただけるとのことですが、それでよろしいでしょうか。
委員	異議なし
相川委員長	例えば、居住地区・住まい・収入源などは、このアンケートと関係なく把握しているものは市にあるのでしょうか。
事務局岸	住民基本台帳からアンケートの送付先を抽出するので、住所はわかりますが、詳細な情報は抽出が困難なので、アンケートで取っていただいた方がよろしいかと思います。木全委員にお伺いしたいのですが、項目は「戸建て・賃貸」ですか、それとも自宅でよろしいですか。
木全委員	前は、戸建て住宅（持ち家）、戸建て住宅（賃貸）、集合住宅（持ち家）、集合住宅（賃貸）、グループホーム等、福祉施設、病院に長期入院中（6か月以上）、その他という項目でした。
事務局岸	それでは、前回と同様でよろしいですか。
委員	異議なし
事務局岸	わかりました。前回のアンケート内容に揃えます。
相川委員長	そうすると、前回と今回の比較も可能ですね。ありがとうございます。他にございますか。
植村（高松）委員	アンケート「オ」の障害児の保護者の方への項目、問10の「希望する直近の進学先」ということで、木全委員からもご意見があったところかと思いますが、ニーズの関係からすると、やはり「直近の」という形になるかと思えます。また、養護学校という表記については、上尾市内は特別支援学校という名称になっているので、特別支援学校で表記の方が保護者には混乱がないのではないかと思います。いかがでしょうか。一瞬、養護学校という文言で混乱される保護者がいらっしゃるのではないかと。
相川委員長	皆さん、どうでしょうか。
植村（高松）委員	アンケート「オ」の4ページになります。「問10 教育・就業についておたずねします。」です。項目が5番の盲・ろう・養護学校小学部というところで、大宮ろう学園は「ろう」ですけれども、視覚特別支援学校とかに通われている方はどうかと思ひまして。
事務局金子	5番を修正するとしたら、盲・ろう・養護学校小学部ではなくて、なんとという言葉が適切になるのでしょうか。
植村（高松）委員	非常に迷われるところで、塙保己一さんの方にも盲という言葉が入っていませんでしたかと思ひます。大宮は大宮ろう学園ですけれど。本校やかしの木は特別支援学校ですので、盲・ろう・養護学校小学部、どのように入れるか検討が必要かと思ひます。
相川委員長	養護学校という名称を特別支援学校に変更するというところで、5番・8番・10番あたりは養護学校の部分を特別支援学校に変えるということでもよろしいですか。

植村（高松） 委員	視覚・聴覚・知的・肢体不自由まで書く必要はないと思います。丁寧ではあると思いますが、実際の名称とは異なってしまいますので。
相川委員長	視覚・聴覚・知的・肢体不自由ってというのは、学校名が入ってこない。上尾やかしの木は知的障害ですけれど、そこは特別支援学校。ろうの大宮は大宮ろう学園なので、盲・ろうなどは抜かして、特別支援学校小学部、特別支援学校中学部とするのはどうですか。
事務局金子 相川委員長 植村（高松） 委員	では、そのように修正します。 もしかしたら設問について周知が必要かもしれない。大丈夫でしょうか。印象としてはわからないのですが、若い保護者の方は、養護学校という言葉になじみがあるのかというところが、質問の発端でして、特別支援学校の方がぱっと選択のしやすいのではないかと思いました。5番・8番・10番を、特別支援学校小学部・中学部・高等部に変えていただいて、今、委員長からあったように、※で視覚・聴覚・知的・肢体不自由と解説いただくのが良いと思います
相川委員長 事務局岸 相川委員長	植村委員、ご指摘ありがとうございます。事務局、よろしいですか。わかりました。 よろしいですか。いろいろなご専門の方がいらっしゃるということは、こういう意味がありますね。
小川委員	他にございますか。 第1回会議の書面開催結果の6ページ目、アンケート内容の問12 仕事について、前回会議の後に7項目を今回5項目に整理しているが、単純に有期雇用者がかなりいるはずなので、その方がどこにつけるのか考えたときに、前は契約社員という項目があったが、今回の項目だと、どれを選択してよいかわからないという質問が来るのではないかと。
相川委員長	ありがとうございます。前回の項目には2番に契約社員がありましたが、今回無くなった事について、事務局から説明よろしいですか。小川委員からの質問は、有期雇用の方はどこにつければいいのか迷うのではないかとということですが、前回の項目では2番に契約社員があった。新しい項目でも2番の欄に当てはまるのかもしれませんが、「不定期に派遣や内職請負で働いている」とあるところに、パート・アルバイト等含むとあると迷われるのではないかとということですが。
事務局岸	小川委員さんに質問したいのですが、有期契約ということで、一応、パート・アルバイトに含むかなと思うのですが、有期契約とも記載した方がよろしいのでしょうか。
小川委員	ハローワークにおける分類としての話ではあるが、不定期というと、働いたり働かなかったりがあると感じる。有期契約は例えば6か月ごとに契約を更新しているといったもの。
事務局岸 小川委員 事務局岸	それでは、2番に契約社員を追記すればよいですか。 その方が見やすいと思う。2番にそういうのを含んでいるという意味で。わかりました。それでは、2番のかっこの中に契約社員という文言を追記します。よろしいですか。
相川委員長 山口 副委員長	山口委員。 働き方の区別を調べることで、どんなことに生かしたいのかということにもよってくるかと思ったのですが、以前の質問項目だと、「正社員・正職員」、「契約社員・嘱託」のようになっていたが、どちらも、ほぼフル



相川委員長 事務局岸	<p>タイムで働いているっていう意味では、いわゆる世間で言う正社員であろうと期限付きの契約社員としてそれを更新しているのであろうと、働いている時間帯とか、内容は一緒であったりする。障害者だから契約社員にしかねない、そういう人たちが多いのだというようなことと結びつけたくてこういう分け方なのか、そのことまで考えず、ただ法律上、やっぱりどういう身分かっていうところを重視して区分けしたのか少々わからない。もし、項目を整理するときに、「私自身は企業などに雇用され正社員または正社員と同等の時間を働いている。」という場合と、「企業などに期限付きや短時間の労働契約で働いている」という、そのような分け方で書面会議の際に意見したところですが、どの点を一番知りたいかによって、どちらに説明をつけるのがいいか判断できればと思う。</p>
相川委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、山口委員からお話いただいた通りで、正社員とか正職員として安定的に仕事をしている方と、不定期というか、期限付きを含むと思うのですが、定期的でないようなパターンをちょっと分ける形で、項目の1番と2番で分けるという形式となっています。小川委員のご意見に話を戻しますと、先ほどの契約社員とか、契約職員っていうのは2番の方に当たるかと。</p>
事務局岸 木全委員	<p>それで、後ろの方には、この臨時職員・アルバイト・パートなど何と書か別にして、最後に「不定期に派遣や内職請負を含む」と入れた方がよい。「派遣や内職請負」という言葉が先に出ていると、回答者が迷われるのではないでしょうか。</p> <p>わかりました。</p> <p>障害者雇用だと、前回実施した際のアンケートでは、聞き方が書面開催時のアンケートと同様でした。それで見ると、身体障害の方は正社員が一番多くて3割程度、知的障害の方は、福祉サービスが一番多く6割程度。精神障害の方は、企業などのアルバイト・パートが一番多くて35%ぐらいで、すごく現状がわかる項目になっていて、比べるならこれはいいなと思いました。もし、先ほどの書き方に修正するとしたら、契約社員の部分は、障害者雇用で正社員って言ったら、基本、正社員と同じ時間帯で、ただ契約で、1年ごとの契約であったりするのですが、時間数は長く、短かったらパートになるので、契約社員の方がやっぱりこれに悩むので、1番を「企業などの正社員・正職員・契約」。山口委員がおっしゃっているような、「正社員または同等の時間働いている」としたほうがわかりやすい。1番がフルタイムで働いているとした方がわかりやすいので、1番がフルタイムで、2番がパート・アルバイト・不定期の様にした方が、分け方としてはわかりやすいかなと思います。</p>
相川委員長	<p>ありがとうございます。今の最新のアンケート案では、前回の項目2と3を一緒にしたものになっていますが、これをそのままに、ちょっと文言は、違うのでしょうかけれども、山口委員の案のように分けておくのか、二つに分けるとすると、私は、先ほど申し上げたような形にするのがよいと思う。他の委員の皆様はどうでしょうか</p>
事務局金子	<p>そうしましたら、1番が企業などの正社員・正職員、契約社員（正規社員または正規社員と同等の時間を働いている）というふうに、付け加えて、2・3・4・5はこのままという形でいいのかなと思いましたがいかがでしょうか。</p>

相川委員長	1 番に契約社員を加えて同等の時間を働いている人として、2 番の文言は変えるのでしょうか。アルバイトとかパートというのは正規ではないと思うので。
事務局岸	パート・アルバイトを文頭に出して、不定期に派遣や内職請負という形にします。
相川委員長	ありがとうございます。
植村（高松）委員	すいません。先ほどのところで、学校の名称についてなんですけれども、前のページの間 5 の項目で、(3) が「特別支援学校に通っている」に特に注釈がなかったのので、こちらも特別支援学校小学部・特別支援学校中学部・特別支援学校高等部でよいのではないかと。先ほどの注釈を削除しました。ちょっと長いかなと思いました。
相川委員長	注釈無しということでしょうか。
植村（高松）委員	注釈無しでお願いいたします。
	(佐藤順恒委員到着)
相川委員長	佐藤委員がいらっしゃいましたので、今日は、今年度初めて開催される会議ということで、皆さん自己紹介しておりますので、お願いします。
佐藤順恒委員	(あいさつ)
相川委員長	ありがとうございます。
木全委員	それでは、木全委員に挙手いただいているのでお願いします。 植村先生がお話してきていただいた、区分才問 10 の「希望する直近の進学先」のところですが、前回のアンケートでは最初に「お子さんにどのような進路を予定しておられますか。(1つだけに○)」という設問があって、今回は入っていないですが、そこで、進学・就職・障害者施設への通所・障害者施設への入所・その他という項目があって、そのうえで、「進学に○をつけた方におたずねします。希望する進学先はどこですか。」という問と、「就職に○をつけた方におたずねします。志望する就労形態はどれですか」という問いがあった。今回はどの進路を希望するかという問いがなく、希望する進学先・就労を聞いているので、例えば 18 歳 17 歳のお子さんをお持ちの保護者の方にとって、進学先がないというか、大学の希望が前回 0% だったので、多分大学に付ける方は少ないと思いますが、そういった希望する直近の進学先がどこですか、もし就労なんだけどとか、進学は希望してないが、12 番の職業訓練校などで書いていますけど、そこを選ぶのか。それとも問 11 で就労移行、就労継続支援 B 型 A 型を選ぶのかって悩まれるかなと思いました。前回に揃えた方がいいかと思ったりもします。
相川委員長	ありがとうございます。これは障害児の親御さんへのアンケートですね。
事務局岸	そうですね。対象者は 18 歳未満。17 歳までです。
相川委員長	18 歳は対象に入るのか
事務局金子	18 歳未満を対象としているので、17 歳までです。
木全委員	前回は、この質問の前に、お子さんにどんな進路を予定しているか。進学か就職か障害者施設の通所か何う質問があって、そこで進学を選んだ人が、問 10 で、希望する進学先はどこですかという問いに、就職を選んだ方は問 11 の希望する就労形態はどれですかという聞き方をしていたので、これだと両方答えないといけないのですが、

事務局岸 相川委員長	進路を聞く間をもう一つ作った方がよいということでしょうか。 進学先という言葉だと回答に困るかもしれないが、進路というふうにすれば、ここの中に就労というのを入れるのもありなのではないかと思えます。やっぱり質問数が多いっていうのはすごく負担の一つなので。これからの修正がしやすい方でいいのかなと思えますけど。
事務局岸	相川委員長のおっしゃる通り、設問数が増えることは好ましくないと思うので、問 10 の中に就労等を入れ、就労を希望した場合に問 11 に誘導するようにしたいと思います。よろしいでしょうか。
委員 相川委員長	(異議なし) それでは設問としては、直近の進学先ではなく、直近の進路という表現になるでしょうか。
事務局岸 相川委員長	そうですね。 お願いいたします。少し話を戻しまして、勤務形態についてですけど、企業などのという言葉が入っているのですが、入れなくてもよいではないか。正社員・正職員のみ表現の方が、文字が少なく読みやすいと思えますので、すべて取って問題なければ取ってしまってよいかと思えます。
小川委員	細かい話になりますが、ハローワーク側から見ると、求人としては、フルタイムとパートタイムに分かれる。その点で、有期雇用者をどこに入れるかについては、アンケートでどの点を把握したいかという点に尽きます。アンケートを回答する側としては、ついていた方がありがたいと思えます。ハローワークでの基準になりますが、パートタイムとは勤務時間が短いということ。パートタイムの有期雇用者はどちらを選択すればよいのかということでは、2を選択すればよいということでしょうか。
相川委員長	パートタイムの有期雇用者そこにつけるかという話。
小川委員	フルタイムであれば1になるということですか。
相川委員長	そうですね。あとは、そのこの区別をした方がいいかどうかですよね。
小川委員	正規か非正規ということ、たとえば障害者の方は非正規が多いので、正規を増やしていきたいということ、計画として立てるのに、現在正規はどれくらいいるのかということ、調査するためであれば、その分類になると思う。
相川委員長	非正規だけど、フルタイムで働いているという人たちが集約されてしまうデータでいいですかということではありますね。それはちょっと確かにどうでしょうか。障害者の状況として、非正規が多いということ、課題として挙げて今後の取り組みにしていくということだとすると、きちんと正規ということが表に出るアンケート項目になってないとわからないということだと思います。その有期雇用の人たちでフルタイムの方が非正規だという認識でおられるかという点はどうでしょうか。
木全委員	それは非正規だと思っていると思う。正社員ではないので。
小川委員	有期雇用というのは、会社の経営が悪くなってしまうとそこで終わりという問題がある。
木全委員	非正規雇用かどうかということ、きちんと言った方がよくないですかね。
小川委員	ハローワークとしての問題の範囲が違うので、このアンケートで、市として、どこに入れても対象がわかれば、あとは皆さんが解釈するとおもう。
木全委員	正規雇用のところに、有期雇用的人也入れてはだめか。
相川委員長	アルバイト・パートと一緒にしたらまずいでしょうか。

小川委員	用語的な話をさせていただくと、社会的身分を表す項目で、職名といいますか、正社員だから、というところでやっている。有期というのは職名とかではないですけど、用語についてハローワークの職員として申し上げると、外すっていうところはちょっと。1を正社員・正職員としたら、2は非正規となっていくのではないのでしょうか。
相川委員長	非正規雇用という言葉で行くのはどうでしょうか。文言は、その問いに合わせた文言にさせていただければよいと思います。市として一番知りたいのは正規か非正規かということでしょうか。内職を入れてしまうと、内職は雇用ではなく、非正規でもないのです。
木全委員	社会的身分というには、雇用形態でしょうか。正社員なのか、パート・アルバイトなのか、雇用でない内職なのか。
事務局井原	正規の社員と、契約で正規並みに働いている契約社員と、パート・アルバイトまたはパート・アルバイト並みの勤務時間の契約社員と、派遣や内職を含む非正規というぐらいの方がよろしいということでしょうか。
小川委員	個人的な意見を言うと、最初に企業などの正社員というのが来るのであれば、2番目は企業などの正規職員以外というのが、問題がない。それでアンケートの用が足りるのであればですが。
土井委員	このアンケートは、身分を知りたいのか働き方を知りたいのかどちらなのか。身分を知りたいければ正規・非正規を聞けばよいし、働く時間を知りたいのであれば、フルタイムかパートタイムかを問えばよい。アンケートの答えをどこに求めているかによって、この文言を調整すればよい。
相川委員長	うまくまとめられず申し訳ありませんが、小川委員からのご意見では、正規社員か正規社員以外ということで正規職員以外の中身を細かく分けるかということ。また、土井議員のご意見では、勤務時間を知りたいのか就労しているかいないのかを知りたいのかなどになるのかと思いますが、いかがでしょうか。もしも、事務局で今のご意見受けて再提案がございましたら。
事務局岸 木全委員	委員の皆様からご意見いただいたので、検討させていただいて。もともと市の福祉に反映するためにアンケートを取るの、どちらで取りたいのか。
事務局岸	元々市で考えていたのは、正規非正規など身分の点の調査であるが、今ご提案いただいた内容を反映させていきたいと思う。
相川委員長 植村（高松） 委員	よろしいでしょうか。すいません、ありがとうございました。申し訳ございません。先ほどの変更で、オの間10は「希望する直近の進路先」になるということですのでよろしいでしょうか。希望する直近の進路先で、その中に就労という文言が入るのであれば、お子さんの中には一定数、福祉サービスの利用を検討されていることを、小学部中学部の時から検討される方もいらっしゃるかと思うので、項目に生活介護等福祉サービスの利用というのにも入っていると、やりやすいかなと思う。
相川委員長 事務局岸 植村（高松） 委員	ありがとうございます。生活介護等福祉サービスですね。サービスを利用することが進路ということであれば。進学先や、希望する就労形態はということであれば言葉を省かれるのかなと思ったのですが、進路ということ聞くのであれば、そういった項目があった方が迷われないかなと。
事務局岸	就労と障害福祉サービスの利用の2点を追加します。

植村（高松） 委員	ありがとうございます。
相川委員長	ありがとうございます。念のため、その他の項目も追加してはどうでしょうか。
事務局岸	その他も追加いたします。
相川委員長	以上でよろしいでしょうか。
木全委員	表紙アンケートの表紙が、全部、療育手帳所持者の皆様となっているが、これは間違いで、これから修正されるということではよろしいですか？
事務局岸	誤りなので修正いたします。
木全委員	3行目で、「このたび本市では、上尾市障害福祉計画および障害福祉計画を策定するにあたり」と書いていますが、その前に上尾市障害者計画も加えた方がよいと思う。
事務局岸	ありがとうございます。追加いたします。
木全委員	ありがとうございます。以上です。
相川委員長	よろしいでしょうか。 そうしましたら、以上で本日の議事の一つ目を終えたいと思います。皆様のご協力いただきましてどうもありがとうございます。 そうしましたら議事の2つ目「その他」について、何か事務局からの事務連絡はありますか。
事務局金子	（委員報酬について報告）
相川委員長	ありがとうございました。続いて委員の皆様から何かありますか。
井上委員	商工会議所の佐藤さんがお見えなので、ちょっとお願いしておきたいと思 います。市内でも知的障害を持った方が一般企業に就職しているところ ですが、今、企業にとっては働いてくれる人ということで、外国籍の方をた くさん雇用しているところがあります。そうすると、知的障害者は、言葉 で物事を伝えるということが難しいのにも関わらず、周囲に外国籍が多く なって、なかなか落ち着いて仕事ができないというような声が、私たちの もとに届いています。そのような理由から休みが続いて、そのまま行けな くなった方もいるようで、障害者の方は、自分がきちんとしていたつもり なのですけれども、もう来なくてもいいと言うような形で辞職につながっ てしまった方が何人かいらっしゃいました。やはり一番多いのは、外国籍 の人と一緒に仕事している人たちが、言葉がわからず、自分の気持ちをう まく伝えられず、職場に行きづらくなってしまおうというようなことで、商 工会議所の会合などの場で、そういう外国籍の方と一緒に知的障害者を雇 ってくださっている企業に対して、フォローしてもらえようようなことをお 願いしておいていただきたいなと思います。よろしく願います。ちょ っと議題から外れたのでその他とさせていただきます。
佐藤委員	検討させていただきたいと思います。
相川委員長	ありがとうございました。以上をもって本日の議題を終了とさせていただきます。お疲れ様でした。
事務局市村	ありがとうございました。最後に、山口副委員長様からご挨拶いただきます。
山口 副委員長	（あいさつ）
事務局市村	以上を持ちまして第2回上尾市障害者施策推進委員会を終了いたします。